

平成30年5月15日

各位

会社名 株式会社デンタス  
代表者名 代表取締役 島 文男  
コード番号 (6174 TOKYO PRO Market)  
問合せ先 専務取締役 田中 明美  
電話番号 088-657-3115

### 通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年12月22日に公表しました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想と、本日公表しました実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 1. 連結業績予想数値との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 926	百万円 △80	百万円 △80	百万円 △82	円 銭 △268.94
実績値（B）	675	△135	△131	△149	△515.01
増減額（B-A）	△251	△55	△51	△67	
増減率（％）	△27.1	—	—	—	
（参考）前期連結実績（平成29年3月期）	920	△211	△199	△73	△262.67

#### 2. 差異の理由

当社は、新規（または分院）開業を目指す歯科医師に対する歯科医院開業支援サービスの提供と、開院後の運営や経営サポートを行う「歯科医院開設支援事業」を開始しております。

当社では、徳島県内を中心とする各地で歯科医院開設支援にかかる施設関連費用や機械販売等を行ってまいりましたが、機械の仕入れのための資金調達、および新規歯科医院の開設に向けた地権者やドクターとの協議が、計画案件に対し予定通り進まなかったこと等による販売不振の影響で150百万円、および監査法人との協議の結果、複数の新規開設の歯科医院に対する機械販売等の売上に付き、歯科医院側の支払能力を現実的に勘案し、計上を見送ったことによる影響で100百万円の売上げの減少が生じたことなどから、売上予想につき差異が生じることとなりました。また、売上予想に差異が生じたことから、利益面でも予想との乖離が生じました。

当初の見込みより新規事業の立ち上がりに手間を要しているものの、確かな反応を感じており引き続き、当社が得意とするデジタル歯科技工物の普及を加速させるため、また、歯科技工事業に次ぐ第二の柱となるべく新規事業の開発に注力して参る所存であります。

#### 3. 今後の見通し

当社は、債務超過の解消を目指し、財務基盤の強化を目指してまいりましたが、平成30年3月期期末時点で76百万円の債務超過状態となりました。引き続き、事業の推進を諮るための資金調達をはじめ今後も様々なファイナンスを模索し、財務基盤の強化を目指し早期の債務超過の解消を図ります。

また、本日時点において、当社がJ-Adviser契約を締結しているのは株式会社OKINAWA J-Adviser（以下、「同社」とします。）であり、同社とのJ-Adviser契約において、下記の事項が定められております。

- ・当社が上場会社となった後に、その事業年度の末日に、債務超過の状態である場合（上場後3年間に於いて債務超過の状態となった場合を除く。）において、1年以内に債務超過の状態でなくならなかったとき、同社が催告無しにJ-Adviser契約を解除できること。

なお、J-Adviser契約の解約につながる可能性のある事象として、平成30年3月期の純資産合計額が△76百万円と債務超過の状態になっておりますが、当社は平成27年9月11日にTOKYO PRO Marketに上場しているため、現時点においては、上場後3年以内であるため無催告解除事項には該当しません。

（注）同日付で、平成30年3月期決算短信（連結）を公表しておりますので、業績の詳細についてはそちらをご覧ください。

以上